

## ・ 憲法変えるかの議論 “深まっていない”が3分の2 ・

来月3日で施行から70年を迎える日本国憲法に関するNHKの世論調査で、国民の間で、憲法を変えらるか変えないかという議論がどの程度深まっていると思うか聞いたところ、「かなり深まっている」が3%、「ある程度深まっている」が26%でした。一方、「あまり深まっていない」は57%、「まったく深まっていない」は10%でした。

### 憲法改正の賛否

NHKは先月、全国の18歳以上の4800人を対象に、個人面接法で世論調査を行い、55.1%にあたる2643人から回答を得ました。この中で、今の憲法を改正する必要があると思うか聞いたところ、「改正する必要があると思う」が43%、「改正する必要はないと思う」が34%、「どちらともいえない」が17%でした。

### 憲法改正への意識

国の政治に優先的に取り組んでほしいことを複数回答で聞いたところ、「社会保障や福祉政策」が62%、「景気・雇用対策」が55%、「少子化対策や教育政策」が37%などとなり、「憲法改正」は6%で、9つの選択肢の中で最も低くなりました。男女別や年代別に見ても、「憲法改正」を優先課題に挙げた人はすべての層で1割に満たず、最も低くなっています。

また、国民の間で、憲法を変えらるか、変えないかという議論がどの程度深まっていると思うか聞いたところ、「かなり深まっている」が3%、「ある程度深まっている」が26%でした。一方、「あまり深まっていない」は57%、「まったく深まっていない」は10%でした。

### 新たに盛り込んだほうがよい事柄

今の憲法には明記されておらず、憲法を改正して新たに盛り込んだほうがよいと思う権利を、6つの選択肢をあげて複数回答で聞いたところ、「個人情報やプライバシーが守られる権利」が50%、「良好な環境で生活する権利」が47%、「子どもの権利」と「行政機関がもつ情報を知る権利」がそれぞれ36%、「著作権や特許権などの知的財産権」が18%、「外国人の権利」が13%、「憲法を改正して盛り込むべき権利は、この中にはない」が11%でした。

憲法を改正して新たに盛り込んだほうがよいと思う制度などを7つの選択肢を挙げて複数回答で聞いたところ、「健全な財政を維持すること」が43%、「国民の選挙で首相を選ぶ『首相公選制』の導入」が32%、「地方分権の推進」が27%、「憲法問題を判断する『憲法裁判所』の設置」と「衆議院と参議院の二院制を一院制にすること」がそれぞれ17%、「家族がお互いに助け合うこと」が16%、「天皇が元首であること」が8%、「憲法を改正して盛り込むべきものは、この中にはない」が15%でした。

### 護憲的立場 東大 石川健治教授は

国民の間で、憲法を変えるか、変えないかという議論が「深まっていない」という答えが多かったことについて、今は憲法を変えるべきでないという立場の東京大学の石川健治教授は、「本気で憲法改正を考えるのであれば、もっと前倒して憲法論議を深めておかないと、非常に悔いを残す結果になる」と指摘したうえで、「憲法への理解が深まらない中で改正を考えるのは極めて危険なことで、この状況で憲法改正を強行することはありえないと思う。まずは議論が深まることが大事だと思う」と述べました。

また、憲法を改正して新たに盛り込んだほうがよいと思う権利を聞いた結果については、「憲法の人権条項は、『これしか守らない』と限定的に列挙しているのではなく、例を示しているだけで、例えばプライバシー権は、判例や学説で憲法上の権利であることが確立していて、これらを盛り込むことは憲法改正の積極的な理由にはなりにくい」と述べました。

さらに、憲法に「緊急事態条項」を加えるべきかどうかについては「明確に備えなければならないことがあるとすれば、まずは法律で対処しなければならない。例えば自然災害のリスクについてはすでに法律を整備して対応している。なんとなく緊急事態があるから備えなければならないという反応は非常に危険で、議論をもっと深めていく必要がある」と指摘しました。

### 改憲的立場 九大 井上武史准教授は

国民の間で、憲法を変えるか、変えないかという議論が「深まっていない」という答えが多かったことについて、改正に向けた議論を進めるべきだという立場の九州大学の井上武史准教授は「憲法改正は最終的に国民の過半数が賛成と言わないといけないのに、議論を見ていると、政治の側の理屈で議題が設定されている印象を受ける」と指摘したうえで、「憲法は民主主義の在り方や人権の保障にも関わるので、国会議員は何のために憲法改正するのかを常に国民に対して説明する姿勢が求められる」と述べました。

また、憲法を改正して新たに盛り込んだほうがよいと思う権利を聞いた結果については、「かつては憲法といえば9条で、憲法改正の必要不要はもっぱら9条改正の問題だととらえられていたと思うが、この間に政治や社会の動きでほかの部分も注目されるようになってきた。いろんな問題にまで関心が高まってきたことはすごく望ましい」と述べました。

さらに、憲法に「緊急事態条項」を加えるべきかどうかについては「憲法で明らかに不備の部分なので非常事態に対するルールも持っておいたほうがいいのではないかという意識の表れだと思う。国会議員の任期延長などは本筋ではない。政治家がやるべきことは国民の耳が痛いことも含めて国民を粘り強く説得するような議論をすることだ」と指摘しています。



## ・ 単語リスト ・

### 【1 ページ】

憲法 【けんぽう】 constitution  
 議論 【ぎろん】 argument; discussion  
 施行 【しこう】 enforcing; carrying out  
 世論調査 【よろんちょうさ】 public opinion poll

改正 【かいせい】 revision; amendment  
 賛否 【さんび】 for and against  
 個人面接 【こじんめんせつ】 personal interview

意識 【いしき】 awareness; sense  
 政治 【せいじ】 politics; government  
 優先的 【ゆうせんてき】 preferential  
 取り組む 【とりくむ】 to tackle  
 複数 【ふくすう】 several; plural  
 保障 【ほしょう】 guarantee; assurance  
 福祉政策 【ふくしせいさく】 welfare policy; social welfare measures  
 景気 【けいき】 condition; state  
 雇用対策 【こようたいさく】 measures to stimulate employment  
 少子化対策 【しょうしかたいさく】 countermeasures to the falling birthrate  
 層 【そう】 class; stratum  
 満つ 【みつ】 to be full

盛り込む 【もりこむ】 to incorporate; to include  
 事柄 【ことがら】 matter; circumstance  
 明記 【めいき】 clear writing; specification  
 権利 【けんり】 right; privilege  
 個人情報 【こじんじょうほう】 personal information  
 プライバシー privacy

良好な 【りょうこう】 favourable; satisfactory

行政機関 【ぎょうせいきかん】 administrative organ  
 著作権 【ちょさくけん】 copyright  
 特許権 【とっきょけん】 patent rights  
 知的財産権 【ちてきざいさんけん】 intellectual property right

### 【2 ページ】

制度 【せいど】 system; institution  
 選択肢 【せんたくし】 choices; alternatives; options  
 健全 【けんぜん】 health; wholesome  
 財政 【ざいせい】 public finance  
 維持 【いじ】 maintenance; preservation; improvement  
 選挙 【せんきょ】 election  
 首相公選制 【しゅしょうこうせんせい】 system allowing for election of the prime minister by popular vote  
 導入 【どうにゅう】 introduction

地方分権 【ちほうぶんけん】 decentralization of power  
 推進 【すいしん】 implementation  
 憲法裁判所 【けんぽうさいばんしょ】 constitutional court  
 設置 【せっち】 establishment  
 衆議院 【しゅうぎいん】 lower house  
 参議院 【さんぎいん】 House of Councillors  
 二院制 【にいんせい】 (n) bicameral system  
 一院制 【いちいんせい】 (n) unicameral system  
 元首 【げんしゅ】 (n) ruler; sovereign

護憲【ごけん】 protecting the constitution  
 立場【たちば】 standpoint; position  
 東大 = 東京大学  
 石川健 Ishikawa Kenji  
 教授【きょうじゆ】 professor  
 本気で【ほんきで】 seriously; in earnest  
 前倒し【まえだおし】 moving forward (e.g. plans); acceleration  
 悔い【くい】 regret  
 極めて【きわめて】 exceedingly  
 危険【きけん】 danger; peril; hazard  
 状況【じょうきよう】 state of affairs (around you); situation; circumstances  
 強行【きょうこう】 forcing; enforcement  
 ありえない impossible; unlikely  
  
 人権【じんけん】 human rights  
 条項【じょうこう】 clause; article; stipulations  
 限定的【げんていてき】 limited; restrictive  
 列挙【れっきよ】 enumeration  
 判例【はんれい】 (judicial) precedent  
 学説【がくせつ】 theory  
 確立【かくりつ】 establishment; settlement  
 積極的【せっきよくてき】 assertive; positive; active  
  
 緊急事態【きんきゅうじたい】 state of emergency  
 備える【そなえる】 to furnish; to provide for; to equip; to install  
  
 対処  
 法律  
 整備【せいび】 maintenance; preparation; establishment; development

対応【たいおう】 interaction; coping with; support; response; reception

改憲【かいけん】 constitutional change  
 九大 = 九州大学  
 井上武史 Inoue Takeshi  
 准教授【じゆんきょうじゆ】 associate professor  
 最終的【さいしゅうてき】 final; eventual  
 過半数【かはんすう】 majority  
 賛成【さんせい】 approval; agreement  
 理屈【りくつ】 theory; reason  
  
 議題【ぎだい】 topic; agenda  
 設定【せつてい】 establishment; settings  
 在り方【ありかた】 the state of things  
 姿勢【しせい】 attitude; posture

### 【3 ページ】

条【じょう】 article (in document)  
 もっぱら wholly; solely; entirely  
 とらえる to seize; to capture; to perceive; to treat (as)  
 動き【うごき】 movement; trend  
 関心【かんしん】 concern; interest  
  
 不備【ふび】 defect; inadequacy  
 非常事態【ひじょうじたい】 state of emergency  
 任期【にんき】 term of office  
 延長【えんちょう】 extension  
 本筋【ほんすじ】 main thread (of a story)  
 粘り強い【ねばりづよい】 persistent; stubborn  
 説得【せつとく】 persuasion